

※農業担い手課受付	※農林事務所受付	※農業委員会受付

農地法第5条第1項の規定による許可申請書

下記のとおり転用のため農地(採草放牧地)の権利を設定(移転)したいので、農地法第5条第1項の規定により許可を申請します。

転用事業、面積等によって許可権者が異なります。

令和〇年△月□日

福島県知事
浪江町農業委員会会長 様

氏名・住所の表記は、登記簿謄本と合わせてください。
現住所(避難先住所ではなく、住民票上の住所)が登記簿上の住所と異なる場合は、住民票を提出してください。

記

1 申請者の氏名、住所及び職業

当事者の別	氏名	印	職業	現住所
譲受人 (被設定人)	浪江 花子	印	会社員	福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7番地2
譲渡人 (設定人)	浪江 太郎	印	農業	福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字△△X番地Y

【代理人】【行政書士の氏名、職業＝行政書士、事務所の所在地を記載すること。】

(様式例第8-2号-2)

2 許可を受けようとする土地の所在、地番、地目、面積、利用状況、普通収穫高及び耕作者の氏名

用途地域に指定されている場合は、種別を記載してください。
例：第1種住居地域 等

郡市町村名		双葉郡浪江町							
譲渡人 (設定人) の氏名	大字・字	地番	地目		面積 m ²	利用状況	10a当たり 普通収穫高	耕作者の氏名	市街化区域・市街化調整区域・非線引き区域・都市計画区域外の別
			登記簿	現況					
浪江 太郎	大字〇〇字△△	〇番△	畑	畑	350m ²	休耕中	—	—	非線引き内用途区域外
	以下余白								
計		1	筆		350	m ² (田	m ² 、畑	350	m ²)

一筆の一部を転用する場合は、「〇〇〇m²のうち△△△m²」のように転用面積を明記し、求積図を提出してください。

3 転用計画

(1) 転用の目的 <例>一般住宅、駐車場等	(2) 権利を設定し、又は移転しようとする理由の詳細	※転用の目的や計画の必要性について具体的に記載してください。 ※「別紙事業計画書のとおり」とする場合は、事業計画書(様式例第8-34号)『①事業の必要性』『②土地の選定理由』に詳細を記載してください。				
(3) 事業の操業期間又は施設の利用期間	許可日から 永 年間 (一時転用の場合:令和 年 月 日から 月間)					
(4) 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要	工事計画	工事期間	許可日 ~ 令和○年□月△日 (許 可 日)			
		名称	棟数	建築面積 m ²	所要面積 m ²	備考
	土地造成			350	<例>開発区域内併用地面積を含む。 <例>併用地:大字○字△番	
	建築物	住宅	1	95	95	木造2階建て
	小計		1	95	95	
	工作物	駐車場			45	3m×5m×3台
	工作物	通路等			210	
	小計				255	
計		1	95	350		

併用地がある場合は、所在地を記載してください。
所有面積にも申請地+併用地

または、賃借権 / 設定等

4 権利を設定・移転しようとする契約の内容

権利の種類	権利の設定・移転の別	権利の設定・移転の時期	権利の存続期間	その他
所有権	設定 <u>移転</u>	許可日	永年	

5 資金調達についての計画

収入		支出	
自己資金	○,○○○,○○○ 円	用地費	●,●●●,●●● 円
借入金	△△,△△△,△△△ 円	造成費	▲,▲▲▲,▲▲▲ 円
補助金		建築費	△△,△△△,△△△ 円
()		()	
()		()	
計	□□,□□□,□□□ 円	計	□□,□□□,□□□ 円

6 転用することによって生ずる付近の土地、作物、家畜等の被害の防除施設の概要

土砂の流出等の災害を防止するための措置:

<例>造成工事後、敷地内を十分に転圧し、土砂の流出等を防ぎます。
 ※災害を防止するための措置について具体的に記載してください。

農業用排水施設の有する機能に支障を及ぼさないための措置:

<例>汚水及び生活雑排水は、南側公共下水道管に接続し、排水します。
 また、雨水については自然浸透及び南側道路側溝に排水します。
 ※排水及び雨水についての計画を具体的に記載してください。

周辺の農地に係る営農条件(集団農地の蚕食又は分断、日照等)に支障を及ぼさないための措置:

<例>申請地付近は町道及び宅地等で分断されているため、農地の集団性を損なわない。
 また、建物を東側寄りに建築するため、周辺農地の日照に影響は及ぼさない。
 ※周辺農地の集団性や日照に関する影響について記載してください。

転用事業に係る費用のみ記載し、収入と支出の合計が同額になるように記載してください。

7 その他参考となるべき事項

(記載要領)

1 「当事者の氏名、住所及び職業」

- (1) 法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の内容をそれぞれ記載してください。
- (2) 代理人が申請の手続きを代理して行う場合は、余白に「代理人」として、「行政書士の氏名、職業(行政書士)、事務所の所在地」を記載してください。
- (3) 譲渡人が2人以上である場合等には別紙として作成し、様式例第8-2号-1と様式例第8-2号-2の間に綴り込んでください。

2 「許可を受けようとする土地の所在、地番、地目、面積、利用状況、普通収穫高及び耕作者の氏名」

- (1) 「利用状況」欄には、田にあつては二毛作、一毛作の別、畑にあつては普通畑、果樹園、桑園、牧草地又はその他の別、採草放牧地にあつては、主な草名又は家畜の種類を記載してください。
- (2) 「10a当たり普通収穫高」欄には、採草放牧地にあつては、採草量又は家畜の頭数を記載してください。
- (3) 「市街化区域・市街化調整区域・非線引き区域・都市計画区域外の別」欄には、申請地が都市計画法による市街化区域(用途区域名を含む、)。市街化調整区域、非線引き内用途区域(用途区域名を含む、)、非線引き内用途区域外又は都市計画区域外のいずれかを記載してください。
- (4) 「譲渡人の氏名」欄は譲渡人の順に名寄せして記載してください。

3 「権利を設定・移転しようとする契約の内容」

権利の種類が複数ある場合は、複数段に記載してください。

4 「転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害の防除施設の概要」

災害(土砂の流出又は崩壊、ガス、粉じん又は鉱煙の発生、湧水、捨石等)を防止するための措置、農業用排水施設の有する機能に支障を及ぼさないための措置等周辺の農地に係る営農条件(集団農地の蚕食又は分断、日照、通風、農道、ため池等)に支障を及ぼさないための措置を記述してください。

5 「その他参考となるべき事項」

- (1) 以前、転用許可を受けたが工事未完了案件がある場合には、転用許可日、工事の進捗状況、未完了の理由及び完了させる見込みを記述してください。
- (2) 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合には、転用行為が都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条第1項の建築許可を要しないものであるときはその旨並びに同法第29条及び第43条第1項の該当する号を、転用行為が当該開発許可を要するものであるときはその旨及び同法第34条の該当する号を、転用行為が当該建築許可を要するものであるときはその旨及び建築物が同法第34条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物に該当するかを、転用行為が開発行為及び建築行為のいずれも伴わないものであるときは、その旨及びその理由を、それぞれ「その他参考となるべき事項」欄に記載してください。

